

(2)技術水準と課題 (カウンターパート及び組織)

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

カウンターパート (個人レベル)

C/P氏名 Mrs. Asih, Mr. Lutfy 担当業務 G0(カッティング)生産 担当専門家 片 山

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
G 0 の検定	ELISA による G 0 の検定についての技術移転を開始した	ウイルス検査技術及び品種の純度、系統の均一化の確立	<ul style="list-style-type: none">・ ELISA 技術・ 判定植物による検査技術・ 組織培養中の異常株検査技術・ 網室内の異常株検査技術・ BBI に送付したカッティングの次代検定結果

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

カウンターパート (個人レベル)

C/P氏名 Ir. Eddi

担当業務 BBI栽培

担当専門家 東 山

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
<p>原原種栽培技術の改善</p>	<p>1. 栽培実態調査及びミーティングを通じ採種栽培に関する知識を高めている</p> <p>2. 圃場環境の改善及び土壌養分の実態、輪作の重要性などについて認識を深めさせている</p>	<p>1. 馬鈴薯の原原種と一般馬鈴薯との栽培方法の違いを理解させる</p> <p>2. 無病種いもが生産される</p> <p>3. 圃場が完全に清浄な状態に保持できる</p> <p>4. 乾期、雨期別栽培体系の確立</p>	<p>1. 収穫物が全量検査に合格</p> <p>2. 種いも(原原種)として20 t/ha以上確保できる</p>

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

カウンターパート（個人レベル）

C/P氏名 未定

担当業務 BBI 研修

担当専門家 東 山

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
研修マニュアルの準備	カウンターパートは公務員研修に参加のため長期不在。研修終了後、異動のため現在、担当カウンターパート空席。そのため関係者及び他のカウンターパートと協議してカリキュラム及び展示圃の計画を進めている	目的に基づいた研修マニュアル及びカリキュラムの作成ができる	目的別研修計画の作成

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

カウンターパート（個人レベル）

C/P氏名 未定

担当業務 BBU 栽培

担当専門家 東 山

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
<p>BBUにおける原種栽培技術の改善</p>	<p>BBUにおける原種圃の栽培開始は1994年5月の予定のため実務担当カウンターパートは未定</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 無病種いもが生産される 2. 圃場が清浄な状態に保持できる 3. 乾期、雨期別栽培体系の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生産物の全量検査に合格 2. 小粒種いも(30~60g)が20 t/ha以上確保できる

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

(組織レベル)

担当業務 BBI

担当専門家 東 山

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
<p>I 原原種栽培技術の改善</p> <p>1. 職員の種子馬鈴薯栽培への認識</p> <p>2. 圃場の準備</p> <p>3. 栽培管理</p>	<p>○ジャワ島採種農家の実態調査</p> <p>○展示圃設置の準備</p> <p>○G2栽培予定圃場の清浄と土壌養分分析・輪作の重要さの認識を深めさせている</p> <p>○未栽培のため近隣農家の栽培法の調査をさせている</p>	<p>○種子馬鈴薯と一般馬鈴薯の違いがよく理解される</p> <p>○野良生えいもの除去・土壌分析ができる</p> <p>○小粒いもの生産方法を確立する</p> <p>○栽培の省力化及び経費の節減</p>	<p>○スタッフ及び研修時の講師として十分説明ができる</p> <p>○圃場の清浄化度合</p> <p>○土壌分析機器を十分利用できる</p> <p>○30~60gの種いもの多量生産</p> <p>○生産費の軽減</p>
<p>II 収穫後の処理技術</p> <p>1. 貯蔵前処理</p> <p>2. 本貯蔵と植付け前の処理</p>	<p>現在未指導</p>	<p>○適切な収穫時期が確定できる</p> <p>○規格別及び病いもの除去ができる</p> <p>○適切な貯蔵ができ病虫害に汚染されない</p> <p>○適切な催芽ができる</p>	<p>○収穫適期が把握できる</p> <p>○規格別選別ができる</p> <p>○病いもの除去ができる</p> <p>○貯蔵中の病虫害の発生がない</p>
<p>III 研修技術の確立</p> <p>1. 研修マニュアルの準備</p> <p>2. 職員及び採種農家の研修</p>	<p>C/P不在のため93年度分のカリキュラムのひな型を作成</p> <p>93年9月より実施予定</p>	<p>○目的別カリキュラムの作成ができる</p> <p>○研修終了後に種いものについての認識が深まる</p>	<p>○カリキュラムの作成</p> <p>○研修後の評価により理解度を確認する</p>

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

(組織レベル)

担当業務 BBU

担当専門家 東 山

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
<p>I 原種栽培技術の改善</p> <p>1. 植付け圃場の準備</p> <p>2. 栽培管理</p> <p>II 収穫後の処理技術</p> <p>1. 貯蔵前処理</p> <p>2. 本貯蔵と植付け前の処理</p>	<p>94年5月より栽培予定のため実質的なカウンターパートは定まっていない</p> <p>現在未指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○輪作が体系化されている ○野良生えいもの除去が完全である ○小粒いもの生産方法の確立 ○栽培経費の節減 ○適切な収穫時期が確定できる ○規格別及び病いもの除去ができる ○適切な貯蔵ができ、病害虫に汚染されない ○適切な催芽ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○野良生えいもの除去率 ○30～60gの種いもの多量生産 ○生産費の軽減 ○収穫適期が把握できる ○規格別選別ができる ○病いものが除去できる ○貯蔵中の病害虫の発生がない

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

カウンターパート (個人レベル)

C/P氏名 Mia Resmiati

担当業務 馬鈴薯増殖

担当専門家 青木忠文

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
G 0 塊茎生産のための sticks の挿し木方法について	消毒した温床土に挿し木、灌水し、収穫貯蔵について第1回を終了、第2回目の sticks 挿し木終了、第1回は1株当たり平均1.3個収穫	挿し木した sticks の生育期間中における病虫害検定技術のマスターと収量、特に塊茎個数のアップ	1. 検定野帳の作成と正確な記入 2. stick 当たり平均2個のミニチューバーを収穫する
G 1 塊茎を得るための網室栽培について	1993年6月上旬植付け予定で、土壤消毒、施肥設計終了	病虫害フリー塊茎の生産及び網室土壤病虫害発生子防の方法とその認識	1. 生産塊茎個数アップのための設計と優良種いも生産体系の認識 2. 土壤病虫害予防のための具体策
G 0、G 1 塊茎生産における無病個体の検定法	肉眼検定及び ELISA、接種検定における集団検定を実施	各種検定法のマスター	1. 肉眼検定における病徴鑑別能力の有無 2. 病虫害発生時の対応
原原種、原種の病虫害同定及び検定技術の改善	作付けがないので未実施	ウイルス病の抜取り、細菌病の培養、顕微鏡操作等のマスター	1. 顕微鏡による病原菌の観察
ウイルス病防除技術の改善	未実施	host plant の除去及び媒介昆虫の発生消長調査とその防除	1. アブラムシの発生消長調査技術
ウイルス病以外の主要病虫害の防除技術の改善	未実施	青枯病、疫病、ジャガイモ蛾の防除法	1. 貯蔵塊茎におけるジャガイモ蛾の防除

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

(組織レベル)

担当業務 馬鈴薯増殖

担当専門家 青木 忠文

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
BBI、BBUにおける優良種子馬鈴薯増殖、生産に必要な技術とマニュアル化	BBIにおいてG 0 塊茎の第1回生産を終了し、第2回挿し木終了。G 1 塊茎生産のためのscreen house Bの土壤消毒と施肥設計を終了し、1993.6月上旬植付け予定	原原種、原種生産に必要な技術マニュアルの作成	<ol style="list-style-type: none"> 1. 増殖体系が守られている 2. 立毛株の検定が確実に行われている 3. 土壤対策が行われている
BBI、BBUにおける種子馬鈴薯の病虫害の同定及び防除技術	BBIにおいてG 0 塊茎生産のため、screen house AにおいてELISA、接種検定の集団サンプリング法及び肉眼検定実施	<p>同定・検定技術の把握と向上、採種環境の浄化</p> <p>早期抜取りの実施、感染経路の遮断等の技術を有機的、弾力的に組み合せ、運用して一層の効果あげる</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. BBIで生産された種いもが健全であること 2. BBUで生産された種いもが健全であること

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

カウンターパート (個人レベル)

C/P氏名 Mr. Mariani Pradjadinata

担当業務

馬鈴薯実験室長

(調整担当カウンターパート)

担当専門家 松原 芳久

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
<p>3. BPSBにおける種子馬鈴薯検査及び取締り体制の強化</p> <p>1. 検査及び指導体制の強化</p> <p>a. 検査及び証明制度のBPSB職員への指導と種子生産農家への啓蒙</p> <p>b. 検査及び証明制度における活動指針の作成と種子生産農家への指導</p> <p>3. 検査基準の設定と検査のマニュアル化</p> <p>a. 暫定検査基準の作成とその見直し</p> <p>4. BPSBにおける行政機能の強化</p>	<p>(1) BPSB職員への指導 カウンターパートに対して指導中</p> <p>(2) 生産農家への啓蒙 未着手</p> <p>(1) 活動指針の作成 未着手</p> <p>(2) 生産農家への指導 未着手</p> <p>暫定検査基準(案)の一部をイ国側に提示した</p> <p>未着手</p>	<p>(1) 圃場検査官及び実験室職員が制度について理解する</p> <p>(2) 生産農家が制度について理解する</p> <p>(1) 活動指針の作成</p> <p>(2) 生産農家が検査体制に協力する</p> <p>検査基準の作成</p> <p>種子馬鈴薯生産農家及び関係機関に対し適切な行政指導ができる (行政能力の向上)</p>	<p>(1) カウンターパート以外の関係職員が制度を理解したかどうか</p> <p>(2) 検査申請書を積極的に提出するかどうか</p> <p>(1) 活動指針作成の有無</p> <p>(2) 生産農家が検査合格基準に達するよう病害虫防除等の努力をするかどうか</p> <p>実際の検査に適用できる検査基準の完成</p> <p>行政指導が定着したかどうか(行政能力の向上)</p>

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

カウンターパート (個人レベル)

C/P氏名 Mr. Dedi Rusuandi

種子証明課課員

(兼)馬鈴薯実験室

担当業務

主席圃場検査官

担当専門家 松原 芳久

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
<p>3. BPSBにおける種子馬鈴薯検査及び取締り体制の強化</p> <p>2. 検査及び同定技術の改善</p> <p>a. 圃場における検査技術の改善</p> <p>3. 検査基準の設定と検査のマニュアル化</p> <p>b. 検査マニュアルの作成と、その見直し</p>	<p>圃場における検査技術の指導を開始した</p> <p>未着手</p>	<p>圃場検査が行えるようになる</p> <p>検査マニュアルの作成</p>	<p>圃場における罹病株の判定及び合格判定能力が向上したかどうか</p> <p>実際の検査に利用できる検査マニュアルの完成</p>

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

カウンターパート (個人レベル)

C/P氏名 Mr. Deden Dedy Rustandt

担当業務

種子市場課課員

(兼) 馬鈴薯実験室

圃場検査官

担当専門家 松原 芳久

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
<p>3. BPSBにおける種子馬鈴薯検査及び取締り体制の強化</p> <p>2. 検査及び同定技術の改善</p> <p>a. 圃場における検査技術の改善</p> <p>3. 検査基準の設定と検査のマニュアル化</p> <p>b. 検査マニュアルの作成と、その見直し</p>	<p>圃場における検査技術の指導を開始した</p> <p>未着手</p>	<p>圃場検査が行えるようになる</p> <p>検査マニュアルの作成</p>	<p>圃場における罹病株の判定及び合格判定能力が向上したかどうか</p> <p>実際の検査に利用できる検査マニュアルの完成</p>

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

(組織レベル)

担当業務 種子検査

担当専門家 松原 芳久

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
<p>種子検査所(BPSB-1) 馬鈴薯実験室 圃場検査係 (Field technical staff)</p> <p>3. BPSBにおける種子馬鈴薯検査及び取締り体制の強化</p> <p>1. 検査及び指導体制の強化</p> <p>a. 検査及び証明制度のBPSB職員への指導と種子農家への啓蒙</p> <p>b. 検査及び証明制度における活動指針の作成と種子生産農家への指導</p> <p>2. 検査及び同定技術の確立</p> <p>a. 圃場における検査技術の改善</p> <p>3. 検査基準の設定と検査のマニュアル化</p> <p>a. 暫定検査基準の作成とその見直し</p> <p>b. 検査マニュアルの作成と、その見直し</p> <p>4. BPSBにおける行政機能の強化</p>	<p>(1) BPSB職員への指導、カウンターパートに対して指導中</p> <p>(2) 生産農家への啓蒙未着手</p> <p>(1) 活動指針未着手</p> <p>(2) 生産農家への指導未着手</p> <p>圃場における検査技術の指導を開始した</p> <p>暫定検査基準(案)の一部をイ国側に提示した</p> <p>未着手</p> <p>未着手</p>	<p>(1) 係員が制度について理解する</p> <p>(2) 生産農家が制度を理解する</p> <p>(1) 活動指針の作成</p> <p>(2) 生産農家が検査体制に協力する</p> <p>圃場検査を行えるようになる</p> <p>検査基準の作成</p> <p>検査マニュアルの作成</p> <p>行政機能の向上</p>	<p>(1) 制度を理解したかどうか</p> <p>(2) 検査申請書を積極的に提出するかどうか</p> <p>(1) 活動指針作成の有無</p> <p>(2) 生産農家が検査合格基準に達するような病害虫防除等の努力をするかどうか</p> <p>圃場における罹病株の判定及び合否判定能力が向上したかどうか</p> <p>実際の検査に適用できる検査基準の完成</p> <p>実際の検査に適用できる検査マニュアルの完成</p> <p>行政能力の向上</p>

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

カウンターパート (個人レベル)

C/P氏名 Mr. Wawan

担当業務 実験室業務

担当専門家 片山

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
<p>実験室における病害同定・検査技術</p>	<p>実験室における病害同定・検査技術の改善のための技術移転を始めた。現在の技術レベルは低いですが、技術修得に対する積極的姿勢がうかがわれる</p>	<p>馬鈴薯重要病害の同定・検査を行えるようになる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・植物病理学関連技術の理解 ・ウイルス病 ・細菌病 ・糸状菌病 ・センチュウ病

将来の評価のための現状把握調査表

技術移転

(組織レベル)

担当業務 室内検定

担当専門家 片 山

技術移転項目	現在の状況	終了時の目標	評価把握指標 (評価のポイント)
<p>3-2-b 実験室における病害同定・検査技術の改善</p>	<p>左記項目に関する技術移転を開始した</p>	<p>馬鈴薯重要病害の同定・検査を行えるようになる</p>	<p>重要病害同定 ・ウイルス病 ・細菌病 ・糸状菌病 ・センチュウ病</p>

JICA